

V 健やかな「都」をつくる

～健康寿命日本一を目標に、高齢者、障害者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域をつくる～

〈テーマ一覧〉

坊	番号	テーマ名	ページ
現状分析			P.93
15. 健康を健康寿命づくりした日本一	(86)	健康増進施策の推進	P.94
	(87)	がん対策の推進	P.95
	(88)	高齢者の安全安心なくらし	P.96
現状分析			P.100
16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	(89)	国保の県営化の円滑な推進	P.106
	(90)	地域医療構想の推進	
	(91)	医療費適正化	P.101
	(92)	医師確保計画、外来医療計画の策定	P.106
	(93)	地域包括ケア・在宅医療の充実、南和における地域包括ケアの実験	P.102
	(94)	県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備	P.106
	(95)	西和医療センターの移転・再整備の検討	
17. 福祉の充実	(96)	福祉の奈良モデル構築	P.103
	(97)	農福連携の推進	P.104
	(98)	重症心身障害児(者)支援センターの設置	P.106
	(99)	出所者の更生保護、就労支援	P.105
現状分析			P.110
18. どこでも環境づくり	(100)	スポーツ施設の整備構想策定	P.111
	(101)	スイムピア奈良(県営プール)の施設充実、まほろば健康パークの機能強化	P.112
	(102)	スポーツ振興ビジョン策定とまちなかスポーツの振興	P.111

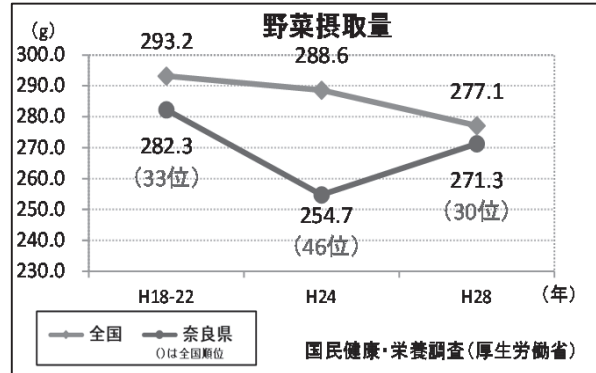
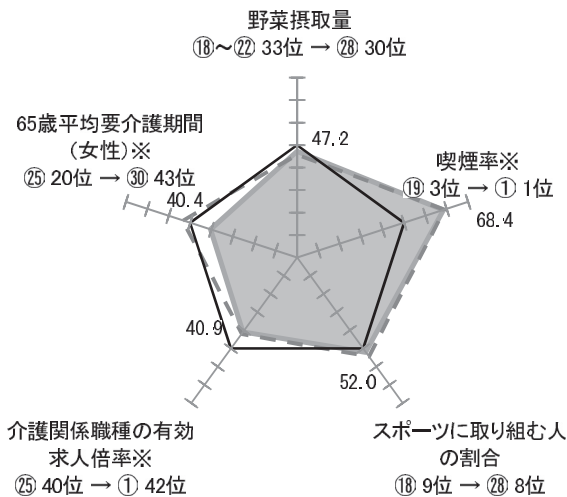
V 健やかな「都」をつくる

15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり

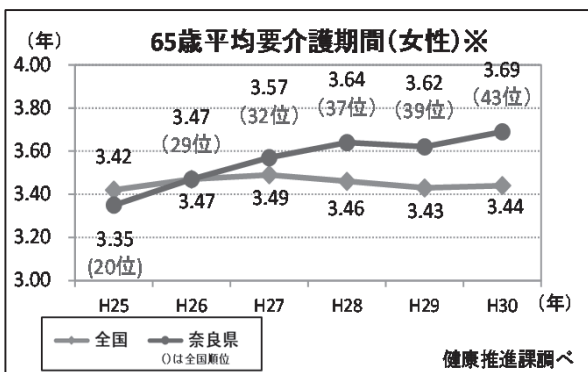
【担当部局】

福祉医療部、医療政策局

1. 現状分析

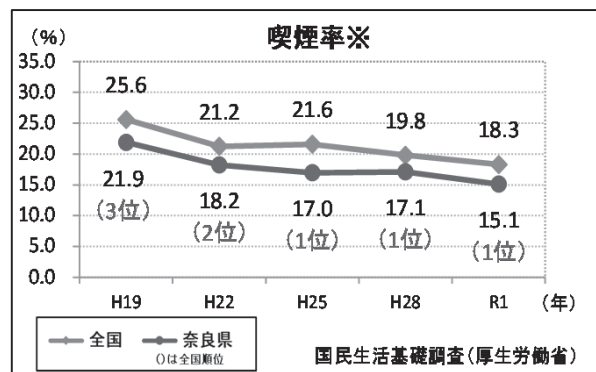


平成28年の野菜摂取量は、平成18～22年と比べて11.0g減少しましたが、平成24年からは16.6g増加しており、全国平均との差は小さくなっています。



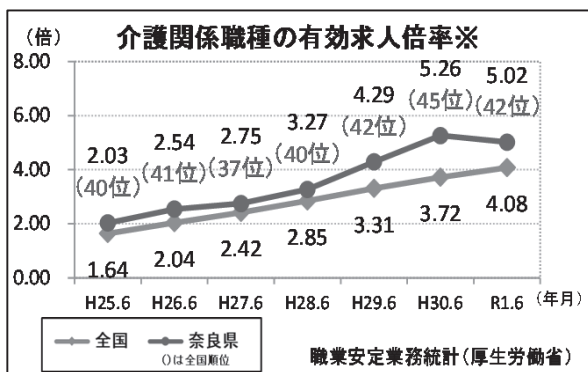
※は数値が低い方が良くなる指標です。

平成30年の女性の65歳平均要介護期間は、平成25年と比べて0.34年延長し、全国平均を上回っています。



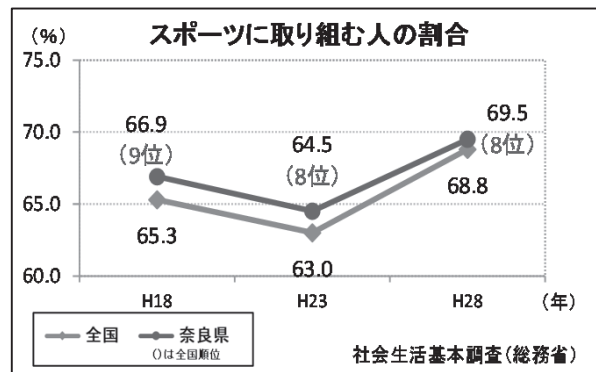
※は数値が低い方が良くなる指標です。

令和元年の喫煙率は、平成19年と比べて6.8ポイント低下しており、平成25年から全国1位となっています。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

介護関係職種における有効求人倍率の伸びは、人材不足の深刻さを表しています。本県は、全国平均を上回っており、人材不足が顕著です。

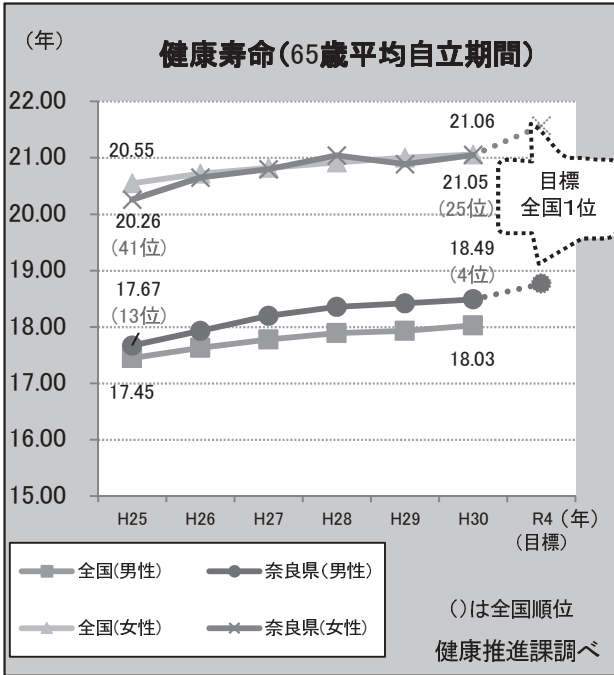


平成28年のスポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比べて2.6ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり
テーマ	(86) 健康増進施策の推進
目指す姿	令和4年までに県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。

CC(チーフコーディネーター)
(86) 医療政策局 健康推進課長 辻本 智宏



健康寿命(65歳平均自立期間)(年)					
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
男性	17.67 (13位)	↑	18.49 (4位)	順位を9上げました	全国1位
	H25 (2013)	0.82年	H30 (2018)	5/9年目	R4 (2022)
女性	20.26 (41位)	↑	21.05 (25位)	順位を16上げました	全国1位
	H25 (2013)	0.79年	H30 (2018)	5/9年目	R4 (2022)

進捗状況
県民の健康的な生活習慣の普及に向け、禁煙支援、健康ステーションにおけるおでかけ健康法の普及啓発等による運動の推進、減塩・野菜摂取の推進等に取り組んだことも一因となり、平成30年の男性の健康寿命は4位で全国でも上位に位置しており、目標達成に近づいています。女性の健康寿命は基準値より順位を16上げ、25位で全国平均と同程度となっています。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
男性の食塩摂取量※(g)	健康的な食生活の普及啓発のため、減塩教室マニュアル、減塩紙芝居、適塩ソングの作成・普及等に取り組んだ結果、実績値は男女ともに基準値から改善していますが、男性の進捗率は女性より遅れています。	11.6	↑	10.6	27.8%	8
		H23 (2011)	1.0 g	H28 (2016)	5/11年目	R4 (2022)
女性の食塩摂取量※(g)		10.1	↑	9.2	42.9%	8
		H23 (2011)	0.9 g	H28 (2016)	5/11年目	R4 (2022)

※は数値が低い方が良くなる指標です。

主な取組指標の動き

減塩・野菜摂取の推進			身体活動の推進 おでかけ健康法の普及			たばこ対策の推進		
食育推進計画策定市町村数 [累計](市町村)			健康ステーション設置市町村数 [累計](市町村)			禁煙支援リーフレットの活用市町村数(市町村数)		
18	↑	39	2	↑	4	18	↑	30
H24 (2012)	21 市町村	R1 (2019)	H28 (2016)	2 市町村	R1 (2019)	H28 (2016)	67 %	R1 (2019)

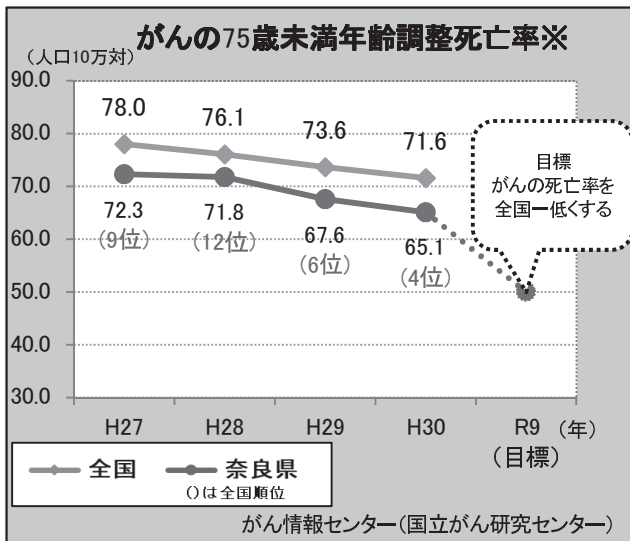
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

スーパーマーケット等において中食(そう菜等)の減塩や野菜増量に取り組む「やさしおベジ増しプロジェクト」に県内50店舗が取り組みました。

週に1回以上歩いて通える身近な会場で体操等を行う「通いの場」の立ち上げに関する市町村支援により、県内33市町村において拡大・充実が進みました。

坊	15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり
テーマ	(87) がん対策の推進
目指す姿	令和9年のがんの75歳未満年齢調整死亡率を全国一低くします。

CC(チーフコーディネーター)
(87) 医療政策局 疾病対策課長 戸毛 由樹子



指標	がんの75歳未満年齢調整死亡率※(人口の10万対)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	72.3 (9位)	↑	65.1 (4位)	順位を5 上げました	全国一 低くする
	H27 (2015)	7.2 ポイント	H30 (2018)	3 12 年目	R9 (2027)
がん医療の充実として、拠点病院等の医療体制を整備しました。また、がん予防・早期発見の推進として個別受診勧奨の取組により、受診率が向上し、たばこ対策の推進により喫煙率が減少したこと等も要因となり、平成30年度のがん死亡率は、平成27年と比べて人口10万人あたり7.2ポイント減少して全国4位となりました。目標に向けて順調に進捗しています。					

※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
がん検診受診率(大腸がん)(%)	受診勧奨・再勧奨等に取り組んだ結果、実績値は基準値から18.1ポイント増加しました。進捗率は71.5%で順調に進捗しています。	24.7	↑	42.8	71.5%	50.0
		H22 (2010)	18.1 ポイント	R1 (2019)	9 12 年目	R4 (2022)

主な取組指標の動き

がん検診の推進			データに基づいたがん対策の充実及び県民への診療情報の見える化の推進			がん検診の推進		
集団健診にて特定健診とがん検診を実施している市町村数(市町村)			「がんネットなら」のページビュー数(件)			がん検診の個別受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村数(市町村)		
33	↑	35	69,241	↑	87,397	22	↑	28
H29 (2017)	6.0 %	R1 (2019)	H28 (2016)	26.2 %	R1 (2019)	H29 (2017)	27.3 %	R1 (2019)

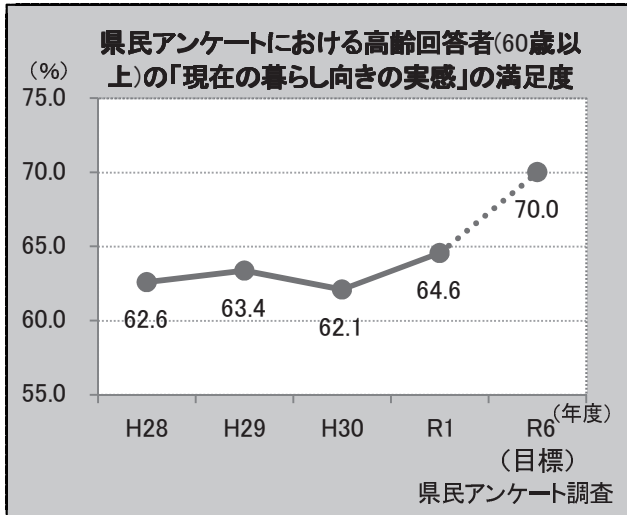
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

平成24年度より「がん検診を受けよう!」奈良県民会議を開催しており、県民会議の会員数は114団体(H24)から128団体(R1)に増加しています。また、街頭啓発では1,400部の啓発グッズを配布、がん予防講演会では217名の参加があり、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めました。

県内のがん診療情報を、県民ががんの治療や病院を選ぶ際に役立つよう、適切に分かりやすく見える化し「がんネットなら」で公表しています。令和2年度からは、新たにごん診療連携拠点病院等の診療機能や実績のデータを公表するとともに、見やすいページに更新しました。

坊	15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり
テーマ	(88) 高齢者の安全安心なくらし
目指す姿	令和6年度までに県民アンケートにおける高齢回答者(60歳以上)の「現在の暮らし向きの実感」の満足度70%を目指します。(「満足している」「十分とはいえないが一応満足している」の回答者率)

CC(チーフコーディネーター)
(88) 福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課長 尾崎 緑



指標	県民アンケートにおける高齢回答者(60歳以上)の「現在の暮らし向きの実感」の満足度(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	62.6	↗	64.6	27.0%	70.0
進捗状況	H28 (2016)	2ポイント	R1 (2019)	$\frac{3}{8}$ 年目	R6 (2024)
	高齢者が住み慣れた地域で健康に、生きがいをもって暮らし続けられるよう、スポーツや文化等を通じた社会活動の機会づくり、高齢者の権利擁護の推進等に取り組んだ結果、高齢回答者のおよそ3分の2が「現在の暮らし向きに満足している」と回答しており、目標に向かって進捗しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
奈良県福祉・介護事業所認証制度の認証事業所数(事業所)	事業所に対して認証取得に向けた支援を実施した結果、令和元年度は新たに74事業所を認証し、実績値は456事業所となり目標値を達成しました。	0	↗	456	102.2%	446
		H27 (2015)	456事業所	R1 (2019)	$\frac{4}{5}$ 年目	R2 (2020)

主な取組指標の動き

介護分野への参入促進の取組強化			生涯学習、スポーツ・文化活動の推進		
無料職業紹介による福祉・介護職への就職者数(人)			ならシニア元気フェスタ競技参加者数(人)		
270	↘	243	2,368	↗	2,628
H30 (2018)	10.0%	R1 (2019)	H29 (2017)	11.0%	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

高齢者のスポーツ・文化活動の「励み」「発表の場」である「ならシニア元気フェスタ」を22種目の競技で開催しました。併せて、会場周辺で子供から高齢者までが楽しめる賑わいイベントを開催し、気軽に体操や軽スポーツ体験のできる機会づくりを進めました。(令和元年5月開催)

安心して働くことができる「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の認証事業所数を拡大するとともに、福祉・介護の仕事の魅力若者等に伝えるため、認証事業所に勤務する若手職員を「奈良県福祉・介護のお仕事PR隊」として任命し、学校訪問や職場体験等、理解を深めることで福祉・介護職への就職を促しました。

3. 次年度に向けた課題の明確化

15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり

- (86) 健康増進施策の推進
- (87) がん対策の推進
- (88) 高齢者の安全安心なくらし

＜奈良県の持っている強み＞

- 1 橿原市と王寺町に設置した、誰でも、気軽に、日常生活の中で健康づくりを開始、実践できる拠点である奈良県健康ステーションの1日平均入場者数が、それぞれ51人、63人と安定(令和元年度)
- 2 定期的に歯科検診を受診している人の割合が増加傾向(男性33.0%、女性39.6%(H23年度)→男性42.7%、女性52.9%(令和元年度))
- 3 令和元年における喫煙率は全国一低い(全体15.1%(全国1位)、男性24.4%(全国2位)、女性6.9%(全国9位))
- 4 福祉・介護事業所認証制度の運用開始

＜奈良県の抱えている弱み＞

- 5 平成28年における食塩摂取量は男性が10.6g(全国14位、6県同率)、女性が9.2g(全国26位、4県同率)で目標値の8gより多く摂取
- 6 平成28年における野菜摂取量は、男性が279.1gで多い方から全国30位、女性が263.5gで全国26位と少ない
- 7 市町村の実施するがん検診の受診率は、肺がん全国38位、大腸がん33位、乳がん33位等(令和元年度)と下位
- 8 福祉人材の有効求人倍率が全国平均より高く、福祉・介護人材が不足

＜奈良県への追い風＞

- a 2020年4月より改正健康増進法が施行され、飲食店等で原則屋内禁煙となり、望まない受動喫煙対策が進展
- b インターネットを通じた調理動画が多く掲載されるようになり、実践に必要な情報入手が容易になっている

＜奈良県への向かい風＞

- c 新型コロナウイルス感染症流行による外出制限、ソーシャルディスタンス確保の要請
- d 誤嚥性肺炎死亡が増加しており、平成29年から死因順位に用いる分類項目に追加され第7位
- e 高齢化の進展に伴い要介護者数が増加
- f 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一部の市町村でがん検診が中止、または延期
- g 福祉・介護職場は身体的・精神的負担が大きい割に他の産業と比して賃金が低い

＜強みで追い風を活かす課題＞

[重要課題]禁煙支援と受動喫煙防止対策の推進(3,a)

＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞

[重要課題]減塩・野菜摂取(食育)の推進(5,6,b)

＜強みで向かい風を克服する課題＞

[重要課題]運動の推進(1,c)
 [重要課題]歯科口腔保健の推進(2,d,e)
 ・福祉・介護事業所認証制度の普及推進(4,g)

＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞

[重要課題]がん検診受診率向上に向けた取組の推進(7,f)
 [重要課題]福祉・介護人材の確保(8,g)
 ・高齢者のいきがいづくり(8,e)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
禁煙支援と受動喫煙防止対策の推進(テーマ(87))	これまでの取組により喫煙率が下がっていることから、令和2年度は禁煙支援ツールの提供、市町村の技術支援を実施します。禁煙支援協力薬局の設置・普及に取り組み、更なる喫煙率の低下を目指します。また、望まない受動喫煙防止対策の推進という課題に対しては、令和2年度は、各保健所に相談窓口を設置し、相談支援と更なる啓発を進めていきます。令和3年度以降も、関係機関と連携しながら、禁煙希望者への禁煙支援と望まない受動喫煙対策を進めます。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
減塩・野菜摂取(食育)の推進(テーマ(86))	令和元年度にスーパーマーケット等で販売される中食(そう菜等)の減塩、野菜増量の取組として「やさしおベジ増しプロジェクト」を開始しました。引き続き、参加協力店舗数の増加と県民への周知を強化し、自然と健康になれる食環境をつくります。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
運動の推進(テーマ(86))	県営健康ステーション(橿原・王寺)の利用者数は安定しており、誰でも、気軽に健康づくりを開始し、実践できる拠点としての役割を果たしていると考えられることから、今後も引き続き運営するとともに、市町村営健康ステーションの運営に対する財政支援を行います。また、新型コロナウイルス感染症対策の下、「3密」を回避して、自宅で行える運動等の情報発信を行うことにより、県民に対して運動習慣の浸透及び健康な生活の維持に取り組めます。
歯科口腔保健の推進(テーマ(86))	歯科口腔保健事業を住民に直接実施する県内市町村において、歯科口腔保健の位置づけが相対的に低い等の原因により歯科技術職員配置率が低いことから、口腔保健支援センター・保健所を通じた支援を実施することにより、市町村の取組の充実を図ります。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
がん検診受診率向上に向けた取組の推進(テーマ(87))	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一部の市町村でがん検診を延期していましたが、感染防止策を講じて順次再開しており、県では、肺がん検診の検診車を配車するなど、市町村のがん検診を支援します。受診率の向上に向けて、市町村における個別の受診勧奨・再勧奨の支援や奈良県民会議員の協力も得て啓発活動を行います。また質の高い検診の実施に向けた精度管理を推進します。
福祉・介護人材の確保(テーマ(88))	急速な高齢化の進展に伴い、介護が必要な高齢者の増加が見込まれるため、福祉・介護人材の確保が求められていますが、事業所においては、介護サービスに従事する従業員の採用が困難で、従業員の不足感が高い状況にあります。そのため、奈良県福祉・介護事業所認証制度を運用し、安心して働ける事業所の取組の「見える化」を図るとともに、事業所等と連携してより幅広い層に対して福祉・介護の仕事の魅力のPRやきめ細かな職業相談・職業紹介等の就職支援を行い、福祉・介護人材の確保、育成を進めます。

V 健やかな「都」をつくる

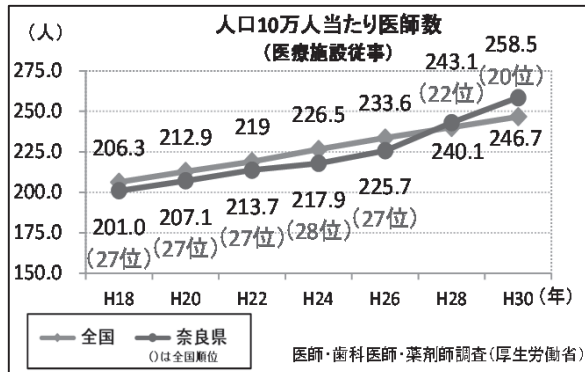
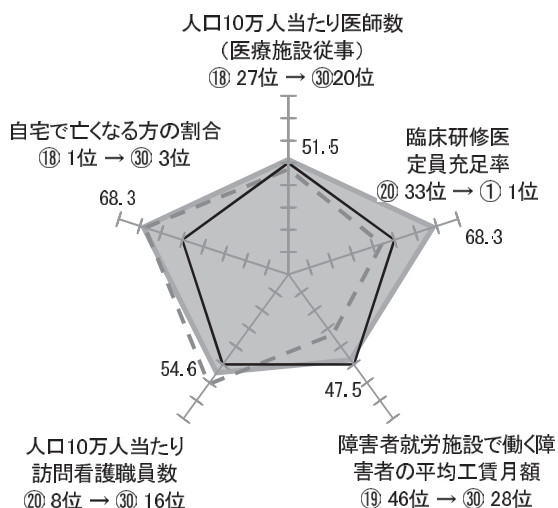
16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

17. 福祉の充実

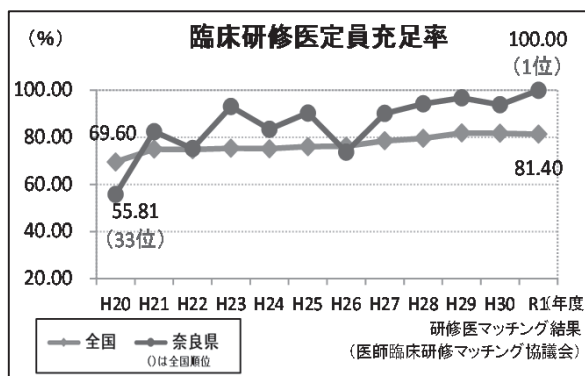
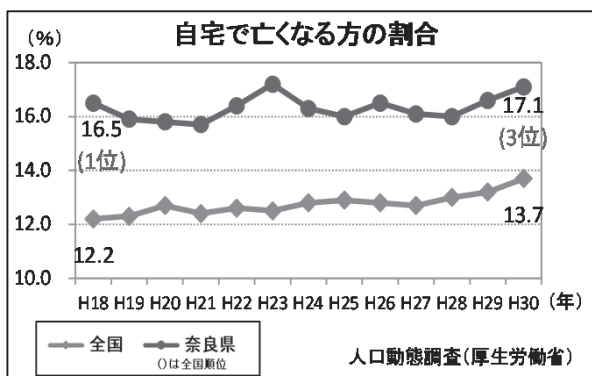
【担当部局】

福祉医療部、医療・介護保険局、医療政策局

1. 現状分析

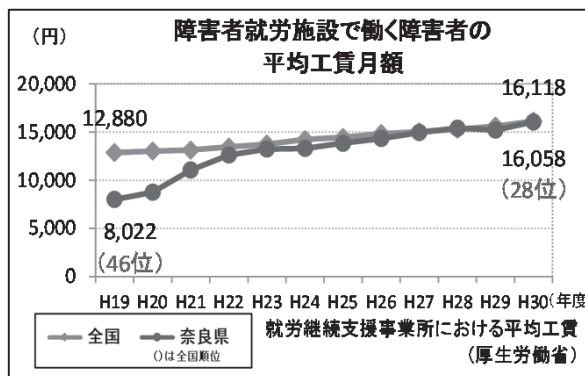
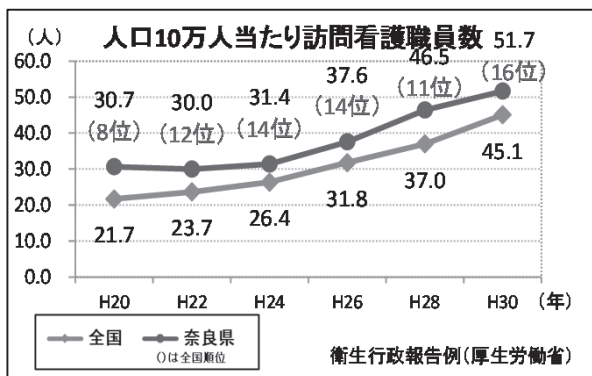


これまで全国平均を下回る水準で推移していましたが、県の総合的な医師確保対策や県立医科大学の中期目標達成に向けた取組により、平成28年からは全国平均を上回った状態で推移しています。



自宅で亡くなる方の割合は、平成18年と比べて0.6ポイント上昇しており、全国平均と比較すると高い水準で推移しています。

臨床研修医定員充足率は、臨床研修を実施する10病院と県が連携して臨床研修医の確保に取り組んだことにより、令和元年度は全国1位の100%となりました。

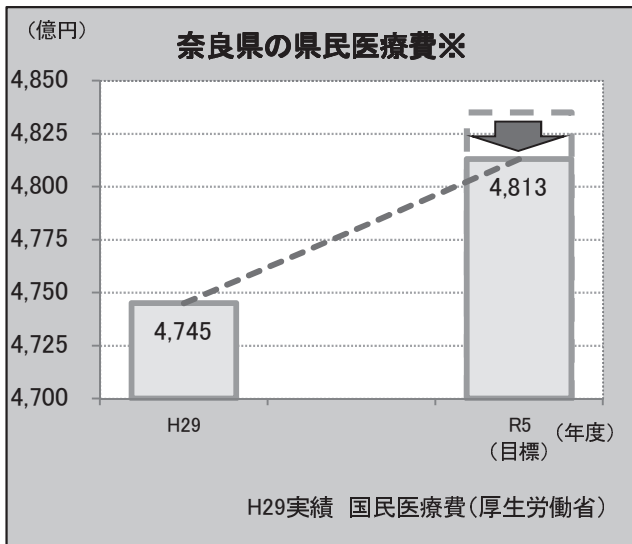


人口10万人当たりの訪問看護職員数は増加を続けており、全国平均を上回った状態で推移しています。

障害者就労施設で働く障害者の平均工賃月額については、全国平均を下回る水準で推移していましたが、年々その差は縮まり、直近ではほぼ同水準になっています。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	CC(チーフコーディネーター)
テーマ	(91) 医療費適正化	(91) 医療・介護保険局 医療保険課長 森川 東
目指す姿	令和5年度の奈良県の県民医療費を4,813億円以下にします。	



奈良県の県民医療費※(億円)		
指標	基準値	目標値
	4,745	4,813
	H29 (2017)	R5 (2023)

進捗状況
医療費目標の達成に向け、県と市町村、平成30年度の国保県単位化を機に国保連合会に設置した国保事務支援センターや他の保険者、医療関係者が連携して、医療費適正化の実効的な取組を進め、令和元年度には、医療費適正化の取組に活かすための医療費分析を強化しました。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
後発医薬品の使用割合(医科・歯科・調剤)(%)	目標達成に向け、医薬品適正使用促進地域協議会の取組、個別医療機関への働きかけなどにより、使用を促進しました。	64.7 (46位)	↗	69.2 (46位)	全国順位は横ばい	全国1位の水準
		H29 (2017)		4.5ポイント	H30 (2018)	1/6年目
糖尿病性腎症による新規人工透析導入患者数※(人)	目標達成に向け、糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる受診勧奨や保健指導を推進し、診療体制を強化しました。	197	↘	215	基準値を18人上回りました	基準値を下回る
		H26~H28 3年間の平均		H30 (2018)	2/7年目	R5 (2023)

※は数値が低い方が良くなる指標です。

主な取組指標の動き

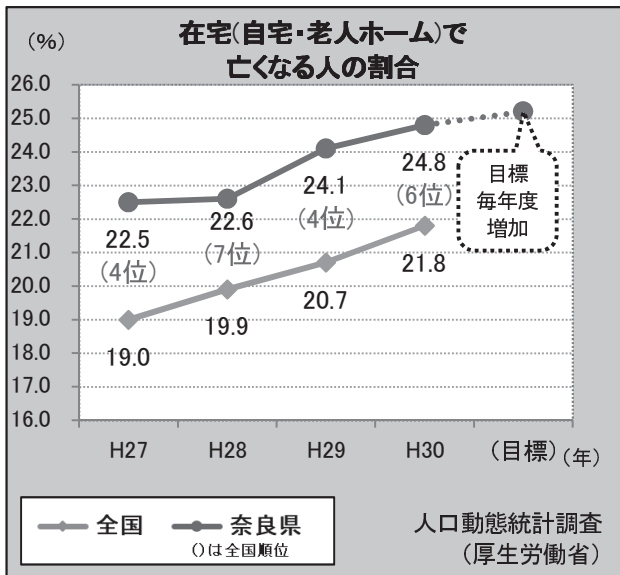
医療費適正化の取組の推進			医療費適正化の取組の推進		
特定健康診査の実施率(%)			特定保健指導の実施率(%)		
44.0	↗	45.0	16.8	↗	17.8
H28 (2016)	1.0ポイント	H29 (2017)	H28 (2016)	1.0ポイント	H29 (2017)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

医療費分析について、地域の実態に即した医療費適正化の取組に活かすための①地域(市町村)差や②疾病別での分析、医療の需給双方の観点から医療費の増減要因を明らかにし、効率的な医療費適正化の取組に活かすための③前年度との増減比較による分析という3つのアプローチで着手し、分析手法の構築に向けて国立保健医療科学院と協定を締結しました。

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実
テーマ	(93) 地域包括ケア・在宅医療の充実、南和における地域包括ケアの実験
目指す姿	在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合を毎年度増加させます。

CC(チーフコーディネーター)
(93) 医療・介護保険局 地域包括ケア推進室長 勝井 康晴



指標	在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	24.1	↗	24.8	0.7ポイント増加しました	毎年度増加
	H29 (2017)	0.7ポイント	H30 (2018)		
居宅サービス事業所や地域密着型サービス整備等を行い、多職種が連携した在宅医療提供体制を推進したこと等により、在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合は全国平均より高くなっており、平成30年度は24.8%と平成29年度から0.7ポイント増加しています。					

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
要介護認定者1人当たりの年間の訪問看護サービス(介護保険分)利用数(回)	訪問看護ステーションの大規模化等を支援した結果、利用数が基準値より0.33回増加しました。	10.01	↗	10.34	0.33回増加しました	毎年度増加
入退院支援加算 ^(注1) 届出病院数(病院)	住み慣れた地域で療養や生活が継続できるよう、入退院調整ルールづくりなどに取り組みました。	40	↗	41	1病院増加しました	毎年度増加
		H30 (2018)	1病院	R1 (2019)		

(注1)入退院支援加算…入院患者が早期に住み慣れた地域で療養や生活が継続できるよう、患者の退院支援を行うことを評価した診療報酬上の加算のことです。

主な取組指標の動き

地域ごとの退院調整ルールの策定と広域調整の推進		
退院調整ルールの策定 市町村数[累計](市町村)		
7	↗	38
H27 (2015)	31市町村	R1 (2019)

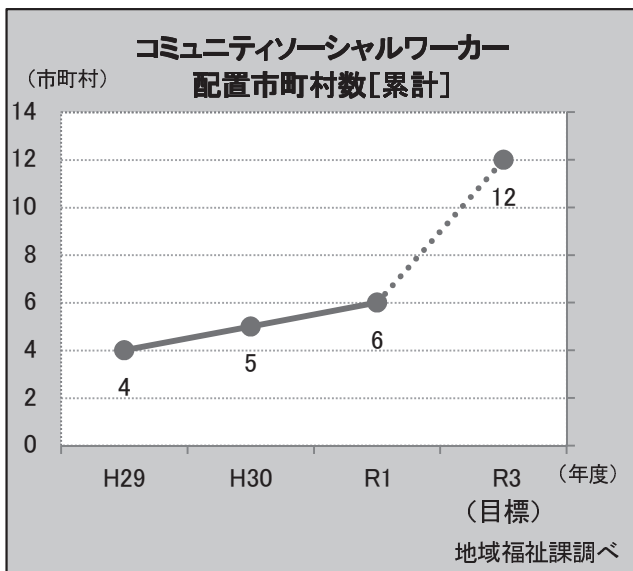
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

介護の必要な方が、退院の際円滑に在宅移行できるよう、38市町村において退院調整ルールの普及・定着が進んだため、課題となっていた、ルールの圏域を越えて入退院する場合の取扱いについて調整しました。

高齢化と過疎化の進展が著しい南和地域において、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、南和広域医療企業団、構成市町村及び県が連携し、南和地域に相応しい地域包括ケアシステムの構築に向けて企業団訪問看護ステーションの開設に向けた取組を進めました。

坊	17. 福祉の充実
テーマ	(96) 福祉の奈良モデル構築
目指す姿	令和3年度までにコミュニティソーシャルワーカー配置市町村を12市町村にします。

CC(チーフコーディネーター)
(96) 福祉医療部 地域福祉課 松山 善之



指標	コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数[累計](市町村)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	4	↗	6	25.0%	12
進捗状況	H29 (2017)	2市町村	R1 (2019)	$\frac{2}{4}$ 年目	R3 (2021)
	平成28年度より、県と県社会福祉協議会が協働して、コミュニティソーシャルワーカーの養成研修を実施し、令和元年度までに計218名が研修を修了しました。加えて、令和元年度は、コミュニティソーシャルワーカーを主軸とした住民主体の課題解決に向け、3市町村への個別支援を実施したこと等により、コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数は平成29年度からは2市町村増加し、令和元年度は6市町村となりました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
小地域福祉活動数[累計](件)	地域の生活課題の解決を目指し、自治会や地域住民による小地域福祉活動(サロン活動、見守り・生活支援活動等)の普及に取り組んだところ、実績値は1,685件に増加し、進捗率は37.6%となりました。	1,402	↗	1,685	37.6%	2,154
		H29 (2017)	283件	R1 (2019)	$\frac{2}{4}$ 年目	R3 (2021)

主な取組指標の動き

コミュニティソーシャルワーカーの支援		
コミュニティソーシャルワーカー養成研修修了者数[累計](人)		
71	↗	218
H28 (2016)	147人	R1 (2019)

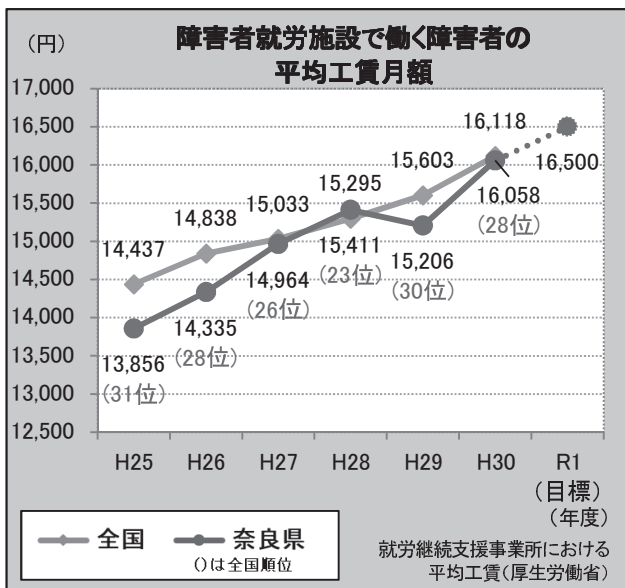
市町村地域福祉計画策定の推進		
市町村地域福祉計画策定率(%)		
21.0	↗	59.0
H29 (2017)	38.0ポイント	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

地域の生活課題の解決に向けて、吉野町ではコミュニティソーシャルワーカーによる、上牧町では民生委員によるモデル的取組を、それぞれ開始しました。

坊	17. 福祉の充実
テーマ	(97) 農福連携の推進
目指す姿	障害者就労施設で働く障害者の平均工賃月額を毎年 度500円増加を目指します。

CC(チーフコーディネーター)
(97) 福祉医療部 障害福祉課長 東川 富成



指標	障害者就労施設で働く障害者の平均工賃月額 (円)			
	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	13,856	16,058	83.3%	16,500
進捗状況	H25 (2013)	2,202 円	H30 (2018)	R1 (2019)
			5/6 年目	
農福連携マルシェを開催し、障害者施設において生産された農産物等の販売促進に取り組みました。また、障害者施設に農業技術に関する専門家を派遣し、野菜や果樹の栽培等について技術指導を実施、農業活動の支援を行いました。これらの取組が障害者施設における生産活動の拡大につながり、平成30年度の平均工賃月額は、平成25年度より2,202円増加して、進捗率は83.3%となり、目標に向かって順調に進捗しています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値	実績値	進捗率 (傾向)	目標値
障害者就労施設における工賃月額総額(百万円)	商業施設における授産商品の販売会や、障害者施設の商品やサービスの周知により、月額工賃総額の増加を図った結果、実績値は334百万円で、進捗率は42.5%となりました。	168	334	42.5%	559
		H25 (2013)	166 百万円	H30 (2018)	5/11 年目

主な取組指標の動き

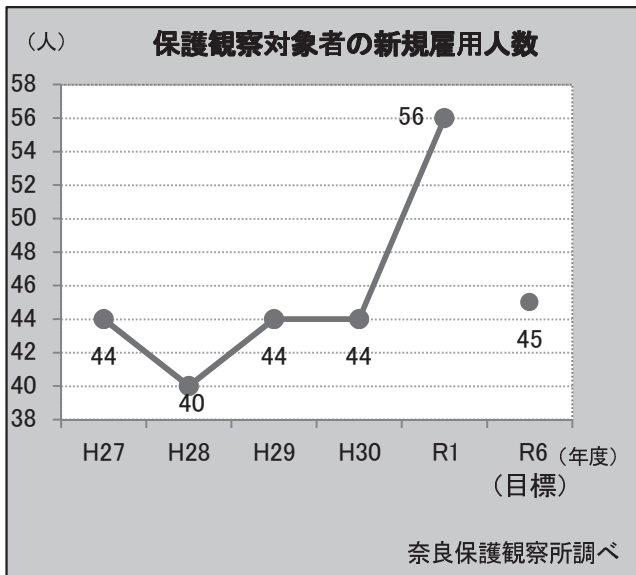
農業者と障害者の相互理解の促進		
農業現場での職場実習の実施件数[累計](件)		
0.0	↗	3.0
H30 (2018)	3.0 件	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

農業分野における職場体験実習を実施し、農業者と障害者の相互理解を促進しました。令和元年度は、3カ所の産地について実施しました。今後も実習の場を広げることにより、障害者の農業活動の機会を増やしていきます。

坊	17. 福祉の充実
テーマ	(99) 出所者の更生保護、就労支援
目指す姿	令和6年度までに保護観察対象者の新規雇用人数を45人以上にします。

CC(チーフコーディネーター)
(99) 福祉医療部 地域福祉課長 松山 善之



指標	保護観察対象者の新規雇用人数(人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	44	↗	56	1200.0%	45
進捗状況	H27 (2015)	12人	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	県民の意識醸成を目的としたシンポジウムや協力雇用主を対象としたセミナー、関係者による意見交換会の実施等の県での地道な取組の他、奈良保護観察所において雇用が少ない業種への働きかけを行った結果、令和元年度の新規雇用人数は前年度より12人増加の56人になり、令和6年度の目標である45人を大きく上回りました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
奈良保護観察所における協力雇用主数の推移[累計](社)	県民を対象としたシンポジウムや協力雇用主を対象としたセミナーの継続により、令和元年度末時点の協力雇用主数は50社増加し、目標に向かって順調に進捗しています。	130	↗	180	71.4%	200
		H27 (2015)	50社	R1 (2019)	$\frac{4}{6}$ 年目	R3 (2021)

主な取組指標の動き

出所者の更生に向けた就業支援		
社会復帰促進就労支援シンポジウム参加者数(人)		
89	↘	73
H28 (2016)	17.9%	R1 (2019)

出所者の更生に向けた就業支援		
対象経費 ^(注) に係る支援者数(人)		
0.0	↗	1.0
H28 (2016)	1.0人	R1 (2019)

(注)対象経費…出所者が働くうえで必要不可欠な資格・免許の取得に係る経費

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

県の更生支援の基本となる考え方や方向性を示す「奈良県更生支援の推進に関する条例」を令和2年4月に施行しました。

刑務所出所者等の今後の更なる就労促進と雇用定着に繋げていくため、刑務所出所者を対象に支援機関や支援内容等をまとめたハンドブックを作成しました。また、協力雇用主を対象に雇用にあたっての留意点等をまとめたハンドブックを作成しました。

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	
テーマ	(89) 国保の県営化の円滑な推進	
CC(チーフコーディネーター)	(89)医療保険課長 森川 東	
目指す姿	令和6年度の県内保険料水準統一化を目指します。	進捗状況 令和6年度の国保の県内保険料水準の統一に向け、県単位化にかかる継続課題である納付金算定に用いる標準的な収納率の設定や、保険料・一部負担金の減免基準の統一的運用について、市町村と議論を深め、基本的枠組を共有しました。

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	
テーマ	(90) 地域医療構想の推進 (92) 医師確保計画、外来医療計画の策定	
CC(チーフコーディネーター)	(90)地域医療連携課長 堀内 忠彦 (92)医師・看護師確保対策室長 園田 正行	
目指す姿	全国のモデルとなる地域医療構想を実現します。	進捗状況 ・地域医療構想調整会議等において、2025年に向けた自病院の役割や病床数を示した「具体的対応方針」を基に、病院の役割分担や連携の枠組みを確認しました。 ・地域医療対策協議会を開催し、医師確保の基本的な考え方や方針を整理した「奈良県医師確保計画」を令和2年3月に策定しました。

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	
テーマ	(94) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備	
CC(チーフコーディネーター)	(94)医療政策局次長 阪本 吉偉	
目指す姿	令和6年度中に新キャンパス先行整備を竣工します。	進捗状況 文化財発掘調査や造成設計等を進めるとともに、新キャンパス整備に必要となる大和都市計画地区計画の決定に向けた手続きを進め、令和2年3月に橿原市が都市計画「奈良県立医科大学地区 地区計画」を告示しました。

坊	16. 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実	
テーマ	(95) 西和医療センターの移転・再整備の検討	
CC(チーフコーディネーター)	(95)医療政策局次長 阪本 吉偉	
目指す姿	令和5年度までに新西和医療センター基本構想・基本計画を策定します。	進捗状況 あり方検討委員会を設置し、西和医療センターが担うべき医療機能を検討するとともに、立地場所の検討については、「移転建替」及び「現地建替」のそれぞれについて課題の抽出を行いました。

坊	17. 福祉の充実	
テーマ	(98) 重症心身障害児(者)支援センターの設置	
CC(チーフコーディネーター)	(98)障害福祉課長 東川 富成	
目指す姿	令和2年度までに重症心身障害児(者)支援センターを設置し、福祉、医療、教育等の各分野が連携して相談支援の充実、人材育成、レスパイトの体制整備等を進めます。	進捗状況 センター設置に向け、福祉、医療等の関係者および当事者によるワーキング会議においてセンターの役割についてヒアリングを実施しました。令和2年度中のセンター設置に向け、準備・検討を進めています。

3. 次年度に向けた課題の明確化

16. 地域医療の総合 マネジメント・地域 包括ケアの充実 17. 福祉の充実

- (89) 国保の県営化の円滑な推進
- (90) 地域医療構想の推進
- (91) 医療費適正化
- (92) 医師確保計画、外来医療計画の策定
- (93) 地域包括ケア・在宅医療の充実、南和における地域包括ケアの実験
- (94) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備
- (95) 西和医療センターの移転・再整備の検討
- (96) 福祉の奈良モデル構築
- (97) 農福連携の推進
- (98) 重症心身障害児(者)支援センターの設置
- (99) 出所者の更生保護、就労支援

<奈良県の持っている強み>

- 1 全国に先駆けた国保の県内保険料水準の統一や収納率の向上など受益と負担の見える化の取組
- 2 平成30年度から国保連合会に設置した国保事務支援センターにおいて、市町村国保事務の共同化、医療費適正化を県域で推進
- 3 精度の高い医療費分析のために医学的専門機関との連携関係を構築
- 4 奈良県が設置した奈良県立病院機構が奈良県西和医療センターの他、奈良県総合医療センター及び奈良県リハビリテーションセンターの3病院を運営し、連携、役割分担を推進
- 5 「奈良モデル」に基づく県の市町村支援の取組
- 6 全国都道府県に先駆けて「奈良県更生支援の推進に関する条例」を制定し、出所者更生に向けた財団法人を設立

<奈良県の抱えている弱み>

- 7 全国平均を下回る特定健康診査・特定保健指導の実施率
- 8 医師は診療科間や地域間で偏在しており、在宅医療を担う訪問看護師が所属する訪問看護ステーションは小規模事業所が多く経営基盤が脆弱
- 9 南和地域では高齢化や人口減少が著しく、地域包括ケアシステムを支える医療・介護資源が少ない
- 10 市町村地域福祉計画の策定率が低い
- 11 障害者就労施設で働く障害者の工賃が全国平均を下回る。
- 12 県内における重症心身障害児(者)に対応した事業所は北和地域に偏在しており、中南和地域の重心児(者)の居場所が不足している

<奈良県への追い風>

- a 「経済財政運営と改革の基本方針」に国保の受益と負担の見える化に取り組む先進・優良事例の全国展開が明記され、かつEBPM(証拠に基づく政策立案)を推進
- b 国の保険者努力支援制度における医療費適正化指標のアウトカム重視
- c 国による医師の働き方改革をはじめとする医療従事者の勤務環境改善の推進
- d 自宅での介護について県民ニーズが高い
- e 地域共生社会の実現に向けた国による取組の推進
- f 児童福祉法改正(H28.6)により、医療的ケア児の支援について、都道府県の努力義務が規定(医療的ケア児が必要な支援を円滑に受けられることができるよう、保健、医療、福祉等の各関連分野の支援を行う機関との連絡調整を行うための体制整備)

<奈良県への向かい風>

- g 医師は偏在しており、看護師は不足している
- h 全国平均より高齢化の進行が早い
- i 急速に進む少子化・高齢化と人口減少の社会
- j 制度の狭間の困りごとを抱える人が増加
- k 人口減少・高齢化に伴う、農業現場における担い手不足
- l 新型コロナウイルスの影響で、求人倍率が急速に悪化している

<強みで追い風を活かす課題>

- [重要課題]** 国保の県内保険料水準の統一(1,2,a)
- [重要課題]** 国保の収納率の向上(1,2,a)
- [重要課題]** 医療費適正化に資する医療費分析の推進(3,a)

<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>

- [重要課題]** 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上(7,b)
- [重要課題]** 医療従事者の働き方改革の推進(8,c)
 - ・将来的な医療需要に対応した供給体制の再構築(8,9,c)
- [重要課題]** 地域の支援体制をサポートする広域的・専門的な相談支援体制の構築(12,f)
 - ・地域包括ケアシステムの構築(9,d)
 - ・市町村地域福祉計画の策定推進(10,e)

<強みで向かい風を克服する課題>

- ・奈良県西和医療センターのあり方(4,i)
- ・生活困窮者等への自立支援の充実(5,j)
- [重要課題]** 県が設立する一般財団法人による出所者の雇用(6,l)

<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>

- [重要課題]** 医師の偏在対策(8,g)
- ・看護師の確保・定着促進(8,g)
- ・南和におけるAIを活用した高齢者支援システムの構築(9,h)
- ・農業者と障害者施設とのマッチングによる農作業の推進(11,k)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
国保の県内保険料水準の統一(テーマ(89))	令和6年度の国保の県内保険料水準の統一に向け、県単位化にかかる継続課題である納付金算定に用いる標準的な収納率の設定や、保険料・一部負担金の減免基準の統一的運用について、全市町村の合意により奈良県国保運営方針に反映します。
国保の収納率の向上(テーマ(89))	徴収事務の適正な実施と県内保険料水準の統一に向けた収納率の市町村格差を是正するため、「国保事務支援センター」の設置による業務の共同化と「収納対策マニュアル」の策定による取組の標準化等の収納対策の充実・強化に取り組んできました。今後も、市町村国保事務の共同化の推進と収納対策マニュアルの活用による収納対策の強化を図ります。
医療費適正化に資する医療費分析の推進(テーマ(91))	これまで、医療費適正化の取組を活かすための医療費分析に取り組んできましたが、今後は、医学的専門機関との連携により、医学的・統計的知見に基づく精度の高い医療費分析を実施し、市町村、医療関係者等と分析結果を共有します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上(テーマ(91))	これまで、国保連合会に設置した国保事務支援センターで全県的に受診勧奨などを実施してきましたが、今後は、医療関係者との連携強化や効果的な受診勧奨により、実施率の底上げを図ります。
医療従事者の働き方改革の推進(テーマ(92)、(93))	令和2年4月より施行された「奈良県医師確保計画」において、「病院勤務医の勤務環境の改善」を方針に掲げているため、医療従事者の勤務環境等の実態を把握するとともに、勤務環境支援改善センターによる助言・相談等の支援により、医療従事者の勤務環境の改善を進めます。
地域の支援体制をサポートする広域的・専門的な相談支援体制の構築(テーマ(98))	令和2年度内に(仮称)重症心身障害児(者)支援センターを設置し、専門相談員を配置して広域的・専門的な相談支援や関係機関との連絡・調整、人材育成などの役割を担い、重症心身障害児(者)に対する身近な地域における相談支援体制の構築をサポートします。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
県が設立する一般財団法人による出所者の雇用(テーマ(99))	令和2年4月に施行した「奈良県更生支援の推進に関する条例」に基づき、同年7月、県が一般財団法人を設立し、出所者を直接雇用するとともに、住居を確保し、職業訓練・社会教育を実施することで、出所者の円滑な社会復帰を促進します。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
医師の偏在対策(テーマ(92)、(93))	令和元年度に策定した「奈良県医師確保計画」に基づき、診療科間での医師の偏在の解消に向けて、医師の不足する診療科における医師の確保や育成を行うため、医師確保修学資金の対象診療科の見直し、総合診療医の育成支援、へき地勤務医師の確保、医師少数区域等で勤務する医師に対する支援を行います。

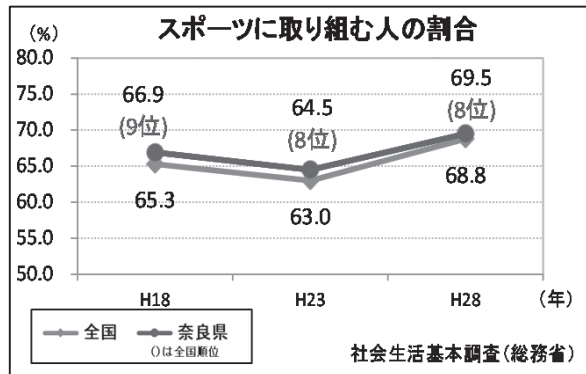
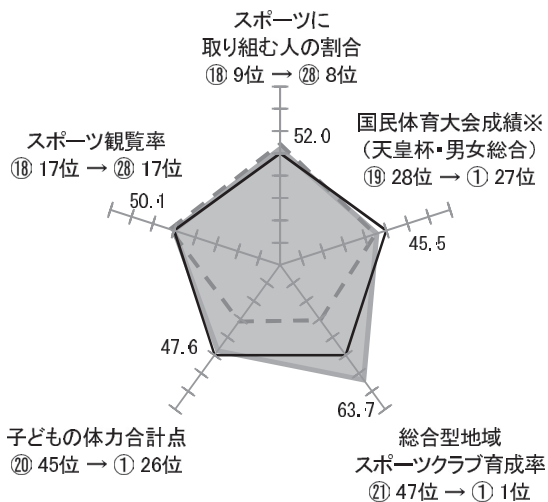
V 健やかな「都」をつくる

18. だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

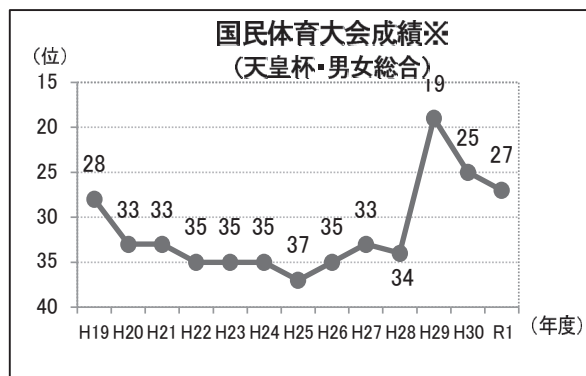
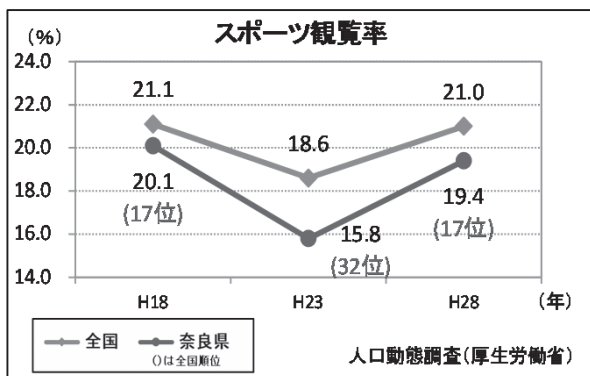
【担当部局】

文化・教育・くらし創造部、地域デザイン推進局

1. 現状分析

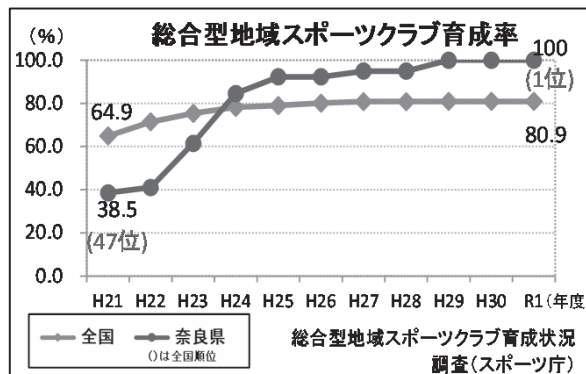
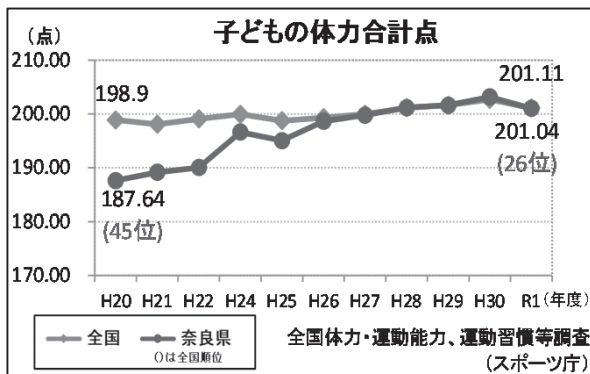


平成28年のスポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比較して2.6ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

競技力向上の取組により、30位台で低迷していた国民体育大会の成績は、平成29年度以降は20位台以上を維持しています。



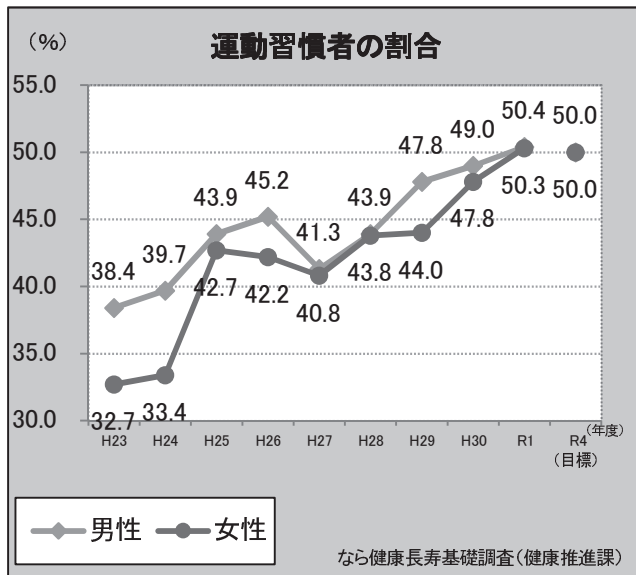
子どもの体力合計点は年々上昇傾向にあり、近年は全国平均と同じ水準で推移しています。

県内全市町村にクラブが設立されたことで、平成29年度から育成率は100%(全国1位)となっています。100%の育成率は本県を含め8県です。

2. 各テーマの「目指す姿」達成に向けた進捗状況

坊	18. だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり
テーマ	(100) スポーツ施設の整備構想策定 (102) スポーツ振興ビジョン策定とまちなかスポーツの振興
目指す姿	令和4年度までに運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人)の割合を50%以上に増やします。

CC(チーフコーディネーター)
(100)、(102) 文化・教育・くらし創造部 スポーツ振興課長 木村 茂和



運動習慣者の割合(%)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
男性	38.4	↗	50.4	103.4%	50
	H23 (2011) 12ポイント		R1 (2019)	8/11 年目	R4 (2022)
女性	32.7	↗	50.3	101.7%	50
	H23 (2011) 17.6ポイント		R1 (2019)	8/11 年目	R4 (2022)
進捗状況	令和元年12月に10回目を迎えた「奈良マラソン」をはじめ県内でのスポーツイベントの開催支援等、運動・スポーツを楽しむ環境や機会の提供により、令和元年度の運動習慣者の割合は、男女ともに50%を超え、令和4年度の目標値を達成しました。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
プロスポーツ等の試合数(試合)	プロスポーツチーム等の連携により、試合数は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、8試合が中止になり、実績値は45試合となりました。	5	↗	45	72.7%	60
		H24 (2012) 40試合		R1 (2019)	7/10 年目	R4 (2022)
橿原公苑年間利用者数(人)	年間利用者数は増加傾向にあり、目標は達成していますが、新型コロナウイルスの感染予防のため2月中旬以降の利用者は減少しました。	301,330	↗	336,910	124.1%	330,000
		H24 (2012) 35,580人		R1 (2019)	7/10 年目	R4 (2022)

主な取組指標の動き

総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進		
総合型地域スポーツクラブ数 [累計](クラブ)		
56	↗	66
H25 (2013)	10クラブ	R1 (2019)

スポーツ拠点施設の整備・運営		
橿原公苑におけるナイトラン参加者数(人)		
25,632	↘	21,292
H25 (2013)	16.9%	R1 (2019)

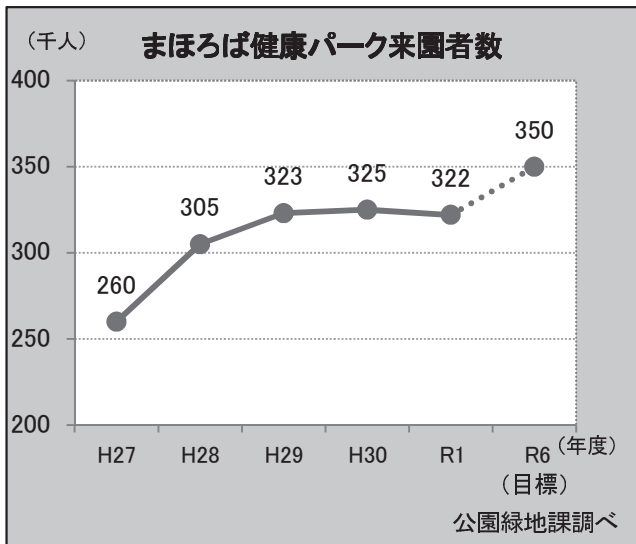
「目指す姿」達成に向けた成果・取組

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の県内での事前キャンプが決定しているエジプト(柔道)、香港(水泳)とシンガポール(パラ・水泳)の各チームが令和元年度に来県し、スポーツへの関心を高めることを目的に地域での交流を図りました。

平成28年度に策定し、平成29年度に改良した「幼児向け運動・スポーツプログラム」の普及拡大のため、令和元年10月・11月に県内幼稚園、保育所の先生や保育士等を対象に講習会(68人参加)を行いました。

坊	18. だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり
テーマ	(101) スイミア奈良(県営プール)の施設充実、まほろば健康パークの機能強化
目指す姿	令和6年度までにまほろば健康パーク来園者数を年間35万人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(101) 地域デザイン推進局 公園緑地課長 市川 浩文



指標	まほろば健康パーク来園者数(千人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	260	↗	322	68.9%	350
進捗状況	H27 (2015)	62 千人	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年度の来園者数は、梅雨明けの遅れに伴う天候不順によるファミリープールの利用者数の減少を受けて平成30年度より来園者数が約3千人減少したものの、目標達成に向けて、平日の営業時間の延長、料金体系の見直し等、利用者へのサービスの向上を行うことにより、会員利用・一般利用ともに増加を図っています。				

関連する指標の分析

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
スイミア奈良利用者数(千人)	目標達成に向けて、施設の周知を行うとともに、利用者へのサービス向上を行った結果、スイミアの利用者数は、平成27年度と比べて70千人増加し、進捗率は79.5%で順調に進捗しています。	152	↗	222	79.5%	240
		H27 (2015)	70 千人	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)

主な取組指標の動き

まほろば健康パークの機能強化		
スイミア奈良会員数[累計](人)		
873	↗	1,806
H27 (2015)	933 人	R1 (2019)

まほろば健康パークの機能強化		
スイミア奈良会員利用者数[累計](人)		
66,032	↗	99,551
H27 (2015)	33,519 人	R1 (2019)

「目指す姿」達成に向けた成果・取組

「県民だより奈良」への広告掲載や大型商業施設でのPRイベントといった指定管理者による地道な広報活動により、まほろば健康パークが着実に県民の皆様へ認知されています。

令和3年6月の竣工に向けて、「スイミア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根の整備等を推進しています。

3. 次年度に向けた課題の明確化

18. だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

- (100)スポーツ施設の整備構想策定
- (101)スイミア奈良(県営プール)の施設充実、まほろば健康パークの機能強化
- (102)スポーツ振興ビジョン策定とまちなかスポーツの振興

<奈良県の持っている強み>

- 1 近畿の先陣を切ってスタートした市民マラソンとして昨年第10回目を迎えた「奈良マラソン」は、参加者が1万7千人を超える冬の一大イベントとして定着
- 2 約6,300人のボランティアと運営スタッフが大会開催を支え、世界遺産をコースに含む「奈良マラソン」は、参加ランナーアンケートで約95%が「満足」と回答
- 3 奈良県は、豊かな自然、起伏ある地勢、美しい風景や歴史的な景観・文化財をはじめとする観光資源等が豊か
- 4 総合型地域スポーツクラブ育成率100%
- 5 まほろば健康パークに近接して利活用可能な空き地が存在する
- 6 スイミア奈良開業以降の利用者数の増加
- 7 運動習慣者の割合が50%を超える

<奈良県の抱えている弱み>

- 8 青壮年期(20歳~64歳)の運動習慣のある人の割合が低い
- 9 プロスポーツや全国大会規模のスポーツ大会を開催できる施設が充分でなく、観覧に行く人の割合が低い
- 10 県内にスポーツに特化した強豪校が少なく、能力の高い高校生、大学生が県外に流出
- 11 奈良県を拠点とする実業団・プロスポーツチームが少ないため、社会人選手の受け入れ先が少ない
- 12 スポーツ施設の老朽化

<奈良県への追い風>

- a ウォーキングやジョギング、サイクリング等を楽しむ高齢者の割合が増加
- b 2021年夏開催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の4つの国・地域の事前キャンプが決定
- c 2021年5月のワールドマスターズゲームス2021関西の県内2市町での競技会開催決定
- d 2030年の「第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会」の奈良県開催予定

<奈良県への向かい風>

- e 趣味の多様化によるスポーツをする機会の減少
- f 人口減少と少子高齢化
- g 子どもの外遊びの機会の低下
- h 新型コロナウイルス感染症の流行
- i 類似参加型イベントの増加
- j 公園の利用に関するニーズの多様化

<強みで追い風を活かす課題>

- [重要課題]** 県内市町村に設立されている総合型スポーツクラブの更なる充実・活性化(4,7,a)
- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた県民の機運醸成とスポーツの振興、奈良県の魅力発信(4,d)
 - ・公園機能強化によるまほろば健康パークの更なる魅力向上(5,6,7,d)
 - ・大規模国際スポーツイベントの開催によるスポーツの機運醸成と県内の国際交流の促進(1,2,b,c)
 - ・スポーツツーリズムの推進(1,2,3,7,a,c)

<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>

- [重要課題]** 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備を通じたスポーツ環境の充実(9,10,11,d)
- [重要課題]** スイミア奈良施設充実によるまほろば健康パークの更なる魅力向上(9,b,d)
- ・青壮年期に向けた身近なスポーツイベントの開催(8,10,11,c)

<強みで向かい風を克服する課題>

- [重要課題]** まほろば健康パークの機能強化による子育て世帯のニーズへの対応(5,6,e,f,g,h,j)
- [重要課題]** 奈良の持つ「自然・歴史・文化資源」を生かした奈良らしいスポーツイベントの開催(1,2,3,4,e,f,g,h,i)
- ・県スポーツ拠点施設の整備やスポーツを通じたにぎわいの創出(3,e,g)

<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>

- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた県内スポーツ施設の改修・修繕の促進(9,11,12,e)
- ・幼少期からのスポーツに親しむ機会の創出により、ジュニアスリートの発掘・育成及び指導者育成などによる競技力の向上(8,10,e,g)
- ・スイミア奈良施設充実によるスポーツ需要への対応(8,j)

4. これまでの評価や取組を踏まえた、強みや追い風を活かす課題の今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
県内市町村に設立されている総合型スポーツクラブの更なる充実・活性化(テーマ(102))	令和2年3月末現在、奈良県では全市町村に総合型地域スポーツクラブが合計66クラブ設置されており、活動内容の充実を図り持続可能な運営を促進することで、さらに地域に定着していく必要があります。引き続き、県クラブアドバイザーが各クラブ・市町村を訪問して行う助言指導など、県内全市町村に設立されている総合型地域スポーツクラブの充実・活性化を図るための支援を行っていきます。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備を通じたスポーツ環境の充実(テーマ(100))	奈良県には、プロスポーツや全国大会規模のスポーツ大会を開催できる施設が充分ではなく、また、老朽化も進んでいます。2030年に奈良で開催予定の「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に向けて、プロスポーツの開催基準も踏まえた施設整備を推進し、その他の大規模大会の招致や、プロスポーツ大会の観戦機会拡大を図ります。
スイムピア奈良施設充実によるまほろば健康パークの更なる魅力向上(テーマ(101))	全国規模の大会が開催される観客席数を確保し、国際大会や全国大会の開催機会を増やすために、「スイムピア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根の整備等に取り組み、まほろば健康パークの更なる魅力向上を目指します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
まほろば健康パークの機能強化による子育て世帯のニーズへの対応(テーマ(101))	公園の利用に関するニーズは多様化していますが、「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」を基本コンセプトとしてまほろば健康パークに近接した空き地を利活用した公園機能強化の検討に取り組みます。
奈良の持つ「自然・歴史・文化資源」を生かしたスポーツイベントの開催(テーマ(102))	奈良県には多くの自然・歴史・文化資源が存在するという特性をさらに県外にPRすることで、奈良マラソンなどのスポーツイベントを通じた地域活性化を市町村と共に図っていきます。

5. これまでの評価や取組を踏まえた、弱みと向かい風を抱える課題の今後の取組方針

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
幼少期からのスポーツに親しむ機会の創出により、ジュニアアスリートの発掘・育成及び指導者育成などによる競技力の向上(テーマ(102))	幼児向け運動・スポーツプログラム実践園等と連携し、幼稚園等の職員の意見交換・情報共有を図り、実践事例集の作成・活用をしていきます。 また、(公財)奈良県スポーツ協会へのトップアスリート育成支援事業補助等により、2030年に奈良で開催予定の「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に向けて競技力向上を図ります。